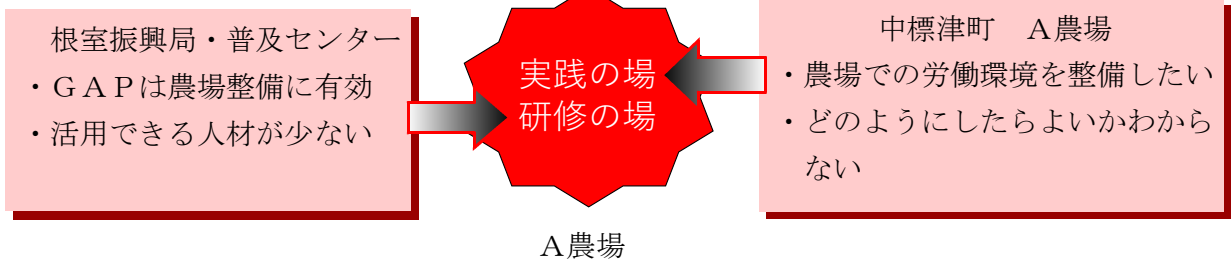


GAPの手法を用いた安全・安心な農場づくり

(クリーン・有機)

1 課題の背景 *****



2 活動の経過 *****

A農場の取組を支援

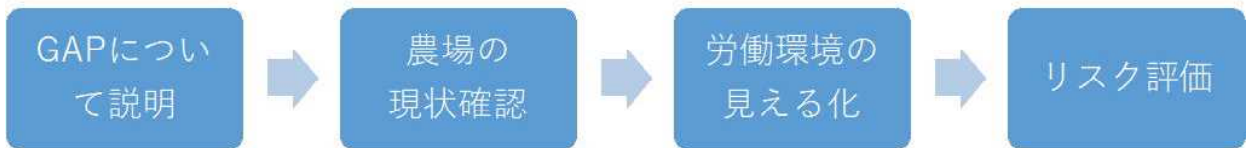


図1 活動の流れ

1) GAPについて説明
GAPの取組の多くは農場で当たり前に行われていること



写真1 農場従業員へのGAP説明会

2) 農場の現状確認

施設・保管資材の現状確認



写真2 整理整頓された
資材ロッカー

3) 労働環境の見える化

作業手順の周知・統一化



写真3 掲示されている
マニュアル

4) リスク評価

生乳への抗生物質混入予防



写真4 休業期間の記録を確認

どこまで実践できているか、何が不足しているか把握

3 活動の成果 *****

定期的に検討会を開催

- 1ヶ月に1回程度



写真5 検討会の様子

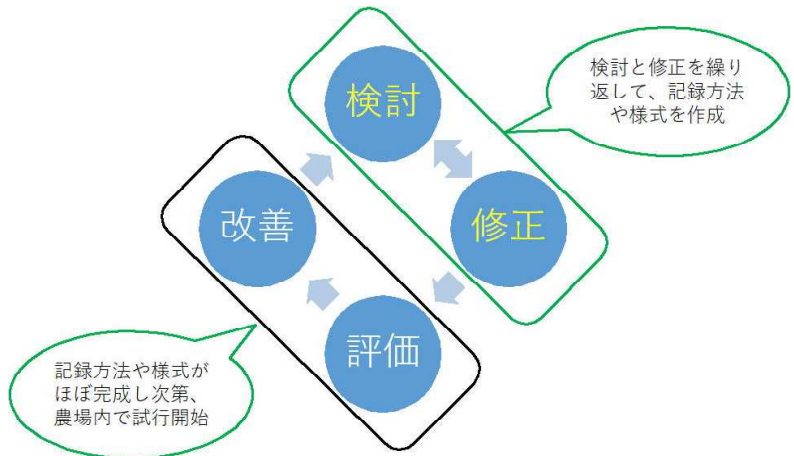


図2 必要書類の作成の流れ

★無理のないペースで少しずつでも着実に前進

全員参加で現場確認

<スラリストアにて>

落下防止用のバーが破損



写真6 スラリストアの
スラリー落とし口

★担当部署以外の問題も共有 → より良いリスク予防策の検討へ

研修生のレベル向上



写真7 研修生へ研修内容説明

作成したものを検討会の場で説明

★リスク評価表などを実際に作成してもらうことで遂行力を身につける

4 今後の活動 *****

- ・ A農場の認証取得に向けて定期的に支援を継続する。
- ・ 研修生が今後他農場でも支援できるよう助言指導を行う。